病院名	北上済生会病院
研修科目名	外科

◇　研修目的

全人的な外科診療を実践できる医師として身に付けるべき外科の基礎を研修するとともに、緊急を要する病態、疾病、外傷について適切な対応ができることを目的とする。

〔総合目標〕

1．プライマリ・ケアとしての外科診療を身につける。
2．基本的な処置を習得する。
3．基本的な周術期管理を習得する。
4．基本的な麻酔法を習得する。
5．各種外科疾患、手術を経験する。

◇　経験すべき検査・手技・治療

【基礎的臨床検査】

◇　ＧＩＯ（一般目標）

検査結果の基本的な評価ができる。

◇　ＳＢＯｓ（個別行動目標）

受け持ちの患者の検査として、診療に活用すること。

【手技・治療】

◇　ＧＩＯ（一般目標）

検査的手技・治療の適応を決定し、実施できる。

◇　ＳＢＯｓ（個別行動目標）

創傷処置ができる。簡単な皮膚切開、縫合を行うことができる。
採血法（動脈血、静脈血）を実施できる。
静脈確保（抹消静脈、中心静脈）をマスターする。
輸液の基本を理解する。
気道確保は、気管内挿管までマスターする。
胃管の挿入、管理を行うことができる。
麻酔法（局所、脊髄、硬膜外、全身）を実施できる。
栄養管理（経口、経管、経静脈）ができる。

◇　主な対象疾患・病態

急性虫垂炎、鼠経ヘルニア、胆石症、腸閉塞などの良性疾患
甲状腺癌、乳癌、胃癌、大腸癌などの悪性疾患
緩和､終末期医療
胸部・腹部一般外傷、急性腹症

◇　教育に関する行事

	午前	午後
月	外来診察 病棟回診	手術
火	外来診察 病棟回診	手術
水	外来診察 病棟回診	手術
木	外来診察 病棟回診	手術
金	外来診察 病棟回診	手術

※　症例検討　毎週火曜日　16：00～（予定）

◇　研修評価

診察・診療（医療面接を含む）、手技及び処置の研修評価を指導医が評価し、また科内症例検討会での発表を参考に指導医が研修の総合評価を行う。

◇　研修方法

患者の担当医となって実際に診療に携わることにより、検査のオーダー、検査結果のチェック、診療録への記載、術前術後の症例検討、診療に関するあらゆる面を研修する。

指導医の指導のもとで日中の救急対応、及び指導医と当直を行い緊急時の救急外来の対応を研修する。

◇平成27年度指導責任者及び指導医

外科指導責任者　細　井　信　之